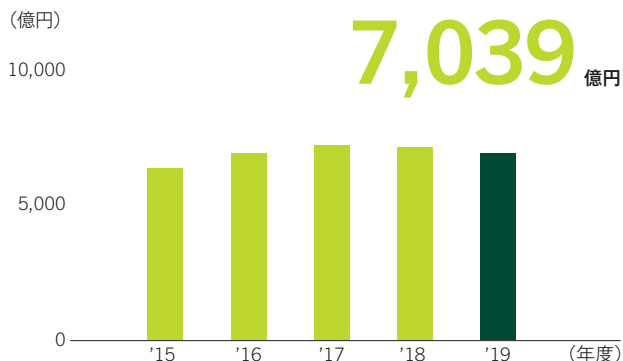


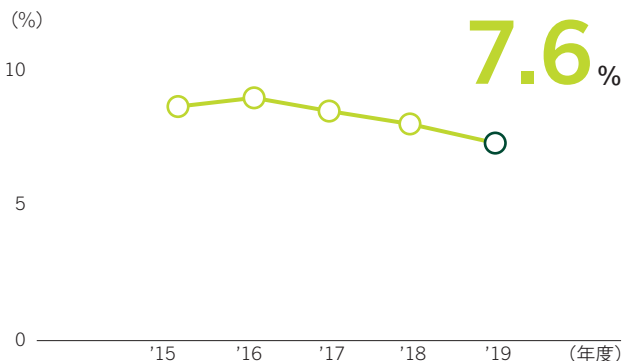
財務ハイライト

親会社株主に帰属する当期純利益



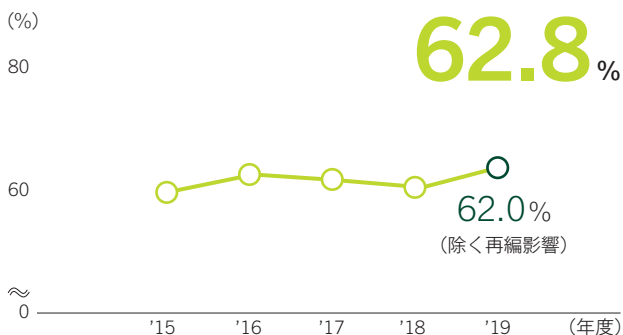
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う減益影響があった一方、海外金利の低下局面を捉えた債券売却益の計上や第3四半期までの与信関係費用の低位推移、税コスト負担の減少等から、目標の7,000億円を上回りました。

ROE (株主資本を分母にして算出)



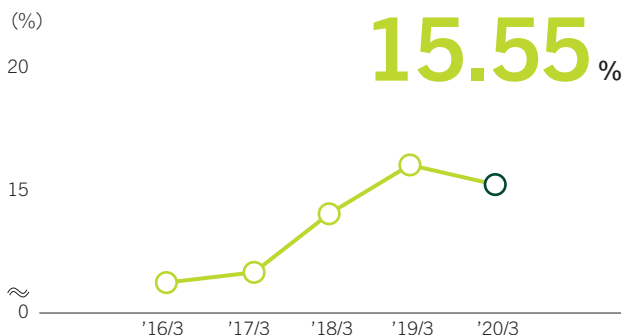
中期経営計画を着実に推進し、親会社株主純利益が目標を上回ったことから、財務目標の「7~8%程度」を達成しました。

経費率



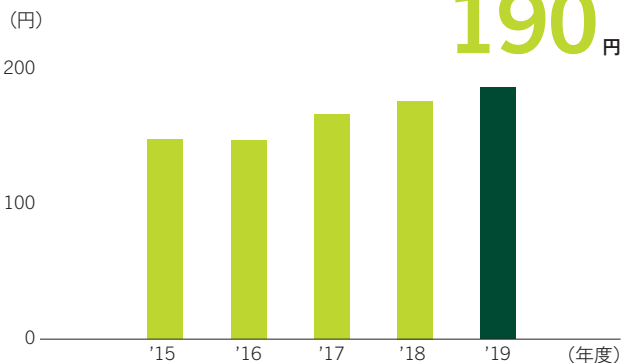
グループベースでのコストコントロールに継続して取り組む一方、規制対応コストの増加や海外ビジネスにおける継続的な資源投入もあり、再編影響を除く経費率は、2016年度比でほぼ横ばいにとどまりました。

普通株式等Tier1比率 (バーゼルⅢ完全実施基準)



海外ビジネスにおける資源投入や新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う株価下落によるその他有価証券評価差額金の減少、お客さまへの資金繰り支援によるリスクアセット増加等から前年比で0.82%低下しましたが、所要水準を大きく上回る高い水準を維持しています。

普通株式1株当たり配当金



中期経営計画の施策が順調に進捗し、親会社株主純利益が業績目標を上回ったことや配当性向目標40%の達成に向けて、前年度実績および公表予想から10円の増配となる、1株当たり190円としました。

外部格付 (2020年6月末現在)

	持株会社		三井住友銀行	
	長期	短期	長期	短期
Moody's	A1	P-1	A1	P-1
S&P	A-	—	A	A-1
Fitch	A	F1	A	F1
格付投資情報センター (R&I)	A+	—	AA-	a-1+
日本格付研究所 (JCR)	AA-	—	AA	J-1+

ESGハイライト

社外からの評価

ディスクローチャー
2019年度 優良企業



ディスクローチャーに対する姿勢や取組が評価
日本証券アナリスト協会
日本IR協議会



ESG金融に積極的に取り組む金融機関に
SMBC日興証券と三井住友銀行が認定
環境省



企業価値向上に向けた
「攻めのIT経営」に取り組む企業に認定
経済産業省
東京証券取引所



女性活躍推進銘柄に5度認定
経済産業省
東京証券取引所



LGBTに関する取組が評価され、
最高位のゴールドを受賞
work with Pride



健康経営に取り組む
優良な法人に4度認定
経済産業省



働き方改革を通じて生産性を高め、
持続的に成長する先進企業に認定
日本経済新聞社

国内外のイニシアチブへの賛同

SMBCグループは、グローバル社会の一員として、金融機関の持つ社会的影響力を踏まえ、
以下のような国内外のイニシアチブ(企業活動の行動指針・原則)に賛同しています。

